

## 競技上の注意事項

- この競技会は、「2018 日本陸上競技連盟競技規則」及び「本大会開催要項」によって行う。
- 競技者の招集方法は次のとおりとする。
  - 招集完了時刻は競技開始時刻の 40 分前（棒高跳は 60 分前、砲丸投は 30 分前）とする。
  - 招集は必ず本人とし、代理人による招集は認めない。招集完了時刻に本人がいない場合は失格とする。
  - 2 種目を兼ねて出場する者で、同時に競技が行われるものは、その旨、競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにすること。
  - 招集受付後は、その場で待機していること。
  - 招集所から競技場所への移動は、競技者係の誘導によって移動すること。
  - 招集所は、第 3 ゲート外側に設ける。
  - 競技者以外は、競技場内に入ることはできない。
- 競技者は、その競技終了後、係員の指示に従い、決められた経路を経て退場すること。
- ナンバーカードは折り曲げないで、ユニホームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技の競技者は胸又は背につけるだけでよい。

ナンバーカードは今年度各都道府県又は学連に登録したものを使用すること。

- 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

走高跳	男子（練習 1m55）	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以降 3cm
	女子（練習 1m30）	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以降 3cm
棒高跳	男子（練習 3m30）	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	4m50	以降 10cm
	女子（練習 1m90）	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m10	以降 10cm

※ただし、気象条件等により審判長の判断で変更することもある。また、練習の高さは、協議のうえ設定することができる。

- 走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、やり投においては、3 回までの試技により上位 8 名が 6 回までの試技を行うことができる。また、2 回目以降の試技で次の距離に達しない場合は計測しないこともある。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投
男子	5m80	11m00	8m00	25m00	35m00
女子	4m30	9m00	7m00	20m00	25m00

※ただし、気象条件等により審判長の判断で変更することもある。

- 試技において、不当に遅れる競技者はその試技を認められず、1 回の無効試技と記録される。
- 本競技場は全天候舗装（オールウェザー S）なので、競技場の保全と競技者の安全のためスパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下とする。
- 跳躍競技の練習は補助競技場、投てき競技の練習には投てき練習場（第 1 運動場）を利用すること。安全に十分留意して練習を行うこと。
- 種目別 3 位までの入賞者には賞状を授与する。また、記録証を希望する者は 1 部 500 円で交付する。希望する者は総務まで申し出ること。
- 個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」及び「日本陸上競技連盟個人情報保護方針」を遵守するものとする。